

患者向医薬品ガイド

2023年10月更新

フェントステープ 0.5 mg
フェントステープ 1 mg
フェントステープ 2 mg
フェントステープ 4 mg
フェントステープ 6 mg
フェントステープ 8 mg

【この薬は？】

販売名	フェントステープ 0.5 mg Fentos Tape 0.5 mg	フェントステープ 1 mg Fentos Tape 1 mg	フェントステープ 2 mg Fentos Tape 2 mg	フェントステープ 4 mg Fentos Tape 4 mg	フェントステープ 6 mg Fentos Tape 6 mg	フェントステープ 8 mg Fentos Tape 8 mg
一般名	フェンタニルクエン酸塩 Fentanyl Citrate					
含有量 (1枚中)	フェンタニルクエン酸塩 0.5 mg	フェンタニルクエン酸塩 1 mg	フェンタニルクエン酸塩 2 mg	フェンタニルクエン酸塩 4 mg	フェンタニルクエン酸塩 6 mg	フェンタニルクエン酸塩 8 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経皮吸収型 持続性疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、皮膚を通して少しずつ体内に吸収され、痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みをやわらげます。
- ・この薬は次の目的で処方されます。

成人：

非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛（ただし、慢性疼痛は他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る。）

中等度から高度の疼痛を伴う各種がん

中等度から高度の慢性疼痛

小児：

非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る。）

中等度から高度の疼痛を伴う各種がん

注）オピオイド鎮痛剤：医療用麻薬（モルヒネなど）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬は温度が上がると過量に体内に吸収され、重篤な副作用を引き起こすおそれがあります。この薬を使用している間は、外部熱源（電気パッド、電気毛布、カイロ、加温ウォーターベッド、赤外線灯、集中的な日光浴、サウナ、湯たんぽ、こたつなど）への接触、熱い温度での入浴などを避けてください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】をよくお読みください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にフェントステープに含まれる成分（フェンタニルクエン酸塩）で過敏症のあった人
- ・ナルメフェン塩酸塩水和物を使用中または使用中後 1 週間以内の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・慢性肺疾患などの呼吸機能に障害のある人
- ・喘息の人
- ・徐脈性不整脈のある人
- ・肝臓や腎臓に障害がある人
- ・頭蓋内圧の亢進、意識障害・昏睡、脳腫瘍などの脳に器質的な障害のある人
- ・40℃以上の発熱がある人
- ・過去に薬物依存のあった人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人

- ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬 [ナルメフェン塩酸塩水和物 (セリンクロ錠)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

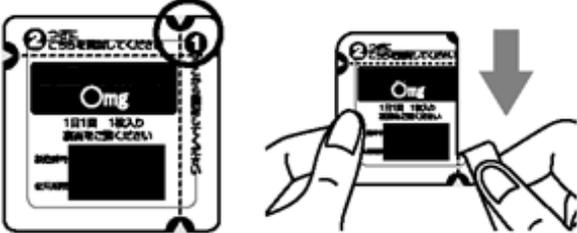
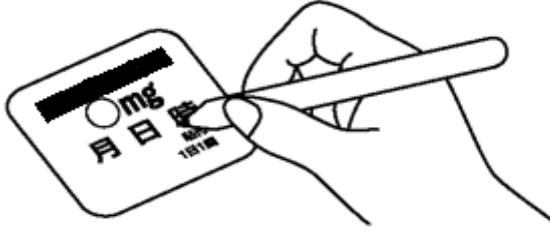
1回に複数枚を貼ることもあります。

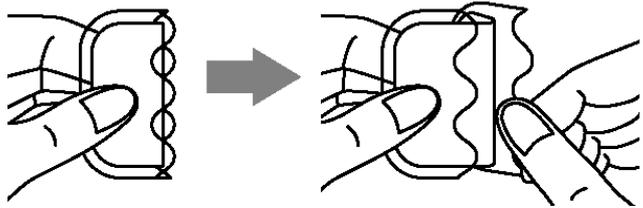
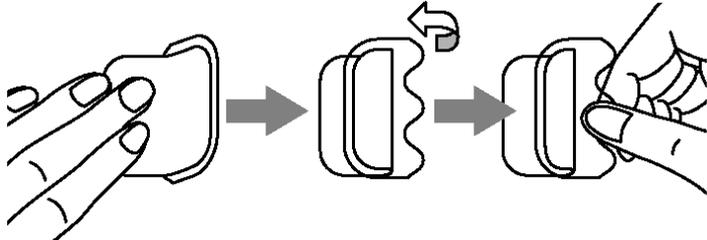
通常、使用回数は、1日1回です。

●どのように使用するか？

- ・貼る時まで、包装を破らないでください。
- ・あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いてください。
(水分や汗でぬれているとうまく貼れません)
- ・貼る直前に、石けん、アルコールやローションなどを貼る部位に使用しないでください。
- ・傷口や皮膚に異常がある部位には使用しないでください。
- ・かぶれなどを防ぐため、毎回貼る部分を変えてください。
- ・ハサミなどで切って使用しないでください。

＜フェントステープの貼り方＞

	<p>“①ここから開封してください”と書いてあるところから切り取ってください。</p>
	<p>“②次にこちらを開封してください”と書いてあるところを切って薬を取り出します。</p>
	<p>薬を貼る日にちと時間を記入してください。(薬表面の○月○日○時と書いてあるところに直接記入できます)</p>

	<p>薬には透明なフィルムがついていますので、「ここからはがす」と表示されたフィルム面を上にしてかるく半分にまげて、片方のフィルムをはがします。粘着面にふれないでください。</p>
	<p>透明なフィルムを取り除いた薬の半分を貼ってください。次に、残りの半分の半分を貼ってください。</p>
	<p>薬を貼った後は、手のひらでしっかり押さえてください。</p>
	<p>薬を貼った後は水道水で手を洗ってください。</p>

●はがれた場合の対応

粘着力が弱くなった場合は、ばんそう膏などで縁を押さえてください。完全にはがれた場合は、ただちに同用量の新しいテープに貼り替えて、はがれたテープの貼り替え予定時刻まで使用してください。

●使用し忘れた場合の対応

2回分を1度に貼ってはいけません。貼り忘れや、貼り替えていないことに気付いたら、すぐにテープをはがし、通常の手順に従って貼ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

重篤な換気低下（息苦しい、息切れ）があらわれることがあります。また、フェンタニルを多く使用したことにより白質脳症（歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる、意識の低下）がみとめられた例があります。

このような症状があらわれたらすべてのテープをはがし、ただちに受診してください。また、換気低下が疑われる症状があらわれた場合には、家族の方はゆり動かしたり話しかけたりして目をさまさせておいてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用するにあたって患者さんや家族の方は副作用、使用方法などを十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・呼吸抑制（呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる）や意識障害（意識の低下、意識の消失）などの症状があらわれた場合はただちに医師に連絡してください。
- ・他の鎮痛剤からこの薬へ切り替えた直後に、吐き気、嘔吐、眠気、めまいなどの副作用があらわれることがあります。これらの症状は時間の経過とともに少なくなります。
- ・この薬の使用前に鎮痛剤を使用していない場合、この薬の使用開始後は吐き気、嘔吐、眠気等の副作用があらわれることがあります。また、この薬を増量する時に呼吸抑制等の副作用があらわれることがあります。
- ・急に薬を減量したり使用をやめたりすると、嘔吐、不安、手足のふるえ、悪寒などがあらわれることがあります。
- ・この薬は、発熱や激しい運動によって体温が上がると体内へ吸収されやすくなります。その結果、重篤な副作用を引き起こす可能性があります。この薬を貼っている部位が電気パッド、電気毛布、カイロ、加温ウォーターベッド、赤外線灯、湯たんぽ、こたつなどの熱が発生しているものに接しないようにしてください。
- ・集中的な日光浴、サウナは控えてください。
- ・熱いお風呂に長時間入浴することは避けてください。
- ・眠くなったりめまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
依存性 いぞんせい	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、幻覚、不眠
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発汗、冷汗が出る、ふらつき、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	意識の低下、意識の消失、ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、不眠、めまい、一時的にボーっとする、幻覚
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、動悸、息苦しい
手・足	手足のふるえ、手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

販売名	フェントステープ 0.5mg	フェントステープ 1mg	フェントステープ 2mg
形状			
	四隅が丸い四角形の粘着テープ剤		
大きさ	1. 5.9cm× 3. 1.6cm	2. 2.4cm× 2. 2.4cm	3. 1.7cm× 3. 1.7cm
色	白色		
識別コード	HP3160T	HP3161T	HP3162T

販売名	フェントステープ 4mg	フェントステープ 6mg
形状		
	四隅が丸い四角形の粘着テープ剤	
大きさ	4. 4.8cm×4. 4.8cm	5. 4.8cm×5. 4.8cm
色	白色	
識別コード	HP3164T	HP3166T

販売名	フェントステープ 8 mg
形状	
	四隅が丸い四角形の粘着テープ剤
大きさ	6.33 cm×6.33 cm
色	白色
識別コード	HP 3 1 6 8 T

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	フェンタニルクエン酸塩
添加剤	合成ケイ酸アルミニウム、脂環族飽和炭化水素樹脂、ジブチルヒドロキシトルエン、スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、ポリイソブチレン、流動パラフィン、その他2成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・この薬を使用するまでは包装を開けずに保管してください。
- ・直射日光と湿気を避け室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に譲り渡すことは、法律で禁じられています。
- ・使わずに残った薬は、病院または薬局に戻してください。

●廃棄方法は？

- ・粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、廃棄してください。
- ・使用済みの薬は、子供やペットの手の届かない場所に廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：久光製薬株式会社 (<https://www.hisamitsu.co.jp/>)

お客様相談室

TEL：0120-133250

受付時間／9：00～17：50（土日・祝日・会社休日を除く）

販売会社：協和キリン株式会社 (<https://www.kyowakirin.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話0120-850-150

受付時間9：00～17：30（土・日・祝日及び弊社休日を除く）